

## 意見交換会開催内容（⑪友部第二小学校）

**日時：**平成24年7月4日（水）午後7時～8時

**場所：**友部第二小学校 体育館

**出席者：**6名

**意見：**南中学校ではなく笠間中学校に通っている生徒がいると聞かすが、これは統合を見越してのことか。

**回答：**10人程度が笠間中学校に来ていますが、これはサッカー少年団の子どもたちが笠間中学校でサッカーをしたいという理由からです。学区審議会や意見交換会でも、部活が選択できる規模の学校に行かせたいという保護者のご意見をいただいています。また、小学校から柔道や剣道をやってきた子どもたちは、南中学校にそれらの部活がないため、指定校変更届を出して笠間中学校に来ていたということもあります。

**意見：**今回の適正配置の対象になっていない学校であっても、今後そういう時期が来たときのために、保護者や地域に対する呼びかけをしっかりと考えておくべきではないか。

**回答：**今後も全市的に徹底した周知に努めていきます。

**意見：**友部第二小学校で1学年3学級が続くとすると、特別支援学級の確保が難しくなる。

**回答：**現在は小学1年生が35人学級となっており、2年生も先生の加配によって40人学級を35人学級にしています。また、国がその上の学年も年次的に35人学級にしていくとなるとさらに学級数が増える可能性があります。

**意見：**城里町は既に学校の統合を実施しているが、統合に関する課題があれば伺いたい。

**回答：**城里町は一昨年に学校の統合を実施しましたが、計画では旧町村をまたがないこととしていました。そのため、七会地区で東小学校と西小学校を統合し、常北地区で古内小学校と青山小学校を統合しました。統合前は、幼稚園や保育所で一緒だった子どもたちが別々の小学校に就学していましたが、小学校を統合したことによって就学前の子どもたちに再び合えることになったため問題なく馴染むことができたようです。課題として挙げられるのは、登校時に運行したスクールバスが車庫に戻ることなく学校の校庭で待機し、下校時にまた運行するなど、運行エリアが広いことによる配車の難しさがあるということです。もう1つは、七会中学校が1学年10数人で部活が成り立たないため、旧町村をまたがない統合に限界が来ているということがあります。

**意見：**意見交換会を開いても、友部第二小学校のように統合の対象になっていないところの保護者や地域住民は無関心なのではないか。

**回答：**影響がない地域は参加者が少ない傾向にあります。たとえば第1段階の対象となっている東小学校での意見交換会では、児童総数の50パーセントを超える方々が参加しています。また、笠間市のホームページでは学校ごとの意見交換会の内容を公開していますし、各戸配布の「広報かさま」にも意見交換会の結果を7月号と8月号に連載しますので、少しでも関心を持っていただけるのではないかと考えています。